

年末・年始及び春節における防疫対策の徹底を！

国内ではCSF(豚コレラ)が継続発生しています。
また隣国の韓国で9月にASF(アフリカ豚コレラ)、東南アジアのミャンマーでは12月に口蹄疫が発生しています。

◎年末・年始や春節はこれらの地域から人・物の動きが盛んになり、CSF・ASF・口蹄疫などのウイルスが我が国に侵入する恐れがあります。飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、家畜の異状を発見したときは、遅滞なく、獣医師又は家畜保健衛生所に通報してください。

以下のことについては重点的に点検してください

- 適切な衛生管理区域の設定
- 衛生管理区域専用の衣服と靴の設置、使用
- 畜舎等及び器具の定期的な清掃又は消毒の徹底
- 他の畜産関係施設等に立入った者の衛生管理区域への立入制限
- 野生動物等からの病原体の農場への侵入防止対策
- 食品廃棄物等を原材料とする飼料を給与する場合の加熱処理
- 毎日の健康観察、異状の早期発見・早期通報

12月28日～1月5日の連絡先
むつ家畜保健衛生所
090-5841-6810



裏面へ

異状を発見したら直ちに通報しましょう!

C S F (豚コレラ)

2018年9月
日本で発生



特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等



うずくまり



豚房の隅に集まるパイルアップ



目やに

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

A S F (アフリカ豚コレラ)

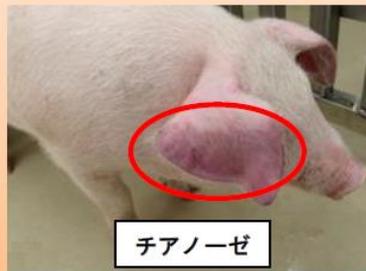
2018年8月以降
中国で発生継続



病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42°C)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

口蹄疫



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



蹄球部皮膚のびらん

〒035-0072 むつ市金谷二丁目 18-25

電話 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259

緊急 090-5841-6810

下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所・むつ地区家畜衛生推進協議会